

令和7年度 第1回 庄内町地域公共交通会議 会議録

- 1 開催日時 令和8年1月16日（金）午前10時30分～午前11時41分
- 2 開催場所 庄内町役場A棟 庁議室
- 3 出席者 11名
庄内町副町長 樋渡 満（会長）
東北運輸局山形運輸支局首席運輸企画専門官 遠山 健
（一社）山形県バス協会 庄内交通（株） 専務取締役 高橋 広司
（一社）山形県ハイヤー協会 余目タクシー（有） 代表取締役 池田 新
庄内町自治会長 吉田 健一
庄内総合支庁道路計画課 課長補佐 生方 昌樹（代理出席）
庄内総合支庁連携支援室 主査 三浦 拓（代理出席）
庄内警察署地域交通課 地域交通課長 新田 和教（代理出席）
庄内町商工会理事 （有）立川タクシー代表取締役 阿部 豊
（福）庄内町社会福祉協議会 総務福祉課福祉係 係長 奥山 敦
庄内町建設課管理係 係長 丸山 昭宏
- 4 事務局 企画情報課 課長 樋渡 真樹
まちづくり移住係 係長 日下部 洋一
まちづくり移住係 主任 清野 恭広
まちづくり移住係 主事 今井 諒

1 開 会 企画情報課長 (10:30)

2 あいさつ 会長

3 協議事項 進行会長 (10:31)

(1) 町営バスの停留所の新設について

事務局／資料1に基づき説明

委員／時刻表はいつ確定するのか

事務局／今後のJRの時刻表の改正に合わせて確定させる。時期は1月末か2月上旬を見込んでいる。時刻表の改定の際には書面での協議をお願いする。

会長／他に、質問意見等がないので協議内容のとおり承認することとする。

(2) 庄内町地域公共交通計画（検討案）について

事務局／資料2に基づき説明

委員／広域路線の目標値が、基準年度に比べると財政負担額がかなり高くなっているが、理由があるのか。

事務局／広域路線として整理した「清川藤島線」は令和7年度に整備されたため、現状値（令

和6年度)には含まれていない。目標値(令和12年度)は「清川藤島線」の利用者数、決算状況等を含んだ数値となっている。

委員/町内の高校生の状況も教えてほしい。

事務局/町内の高校生の状況は、酒田市、鶴岡市に通学する生徒はJRを利用している。駅までは保護者が送迎している場合が多いようだ。町内にある庄内総合高校へは、町外からはJRで、町内は町営バスを利用して通学している状況となっている。

委員/年間利用者の目標値「25,000人」は基準年度の令和6年度が22,294人であり、今後人口減少していく中で、高めの目標設定だと思うが、いかがか。

事務局/連携する第3期庄内町まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で令和12年度の目標値を25,000人としている。指摘を踏まえ目標地について、再度検討する。

事務局/この検討案をベースに案を作成し、パブリックコメント行う予定。

会長/他に、質問意見等がないので協議内容のとおり承認することとする。

4 その他

(11:40)

委員/デマンドタクシーの回数券の販売については、役場だけでなく、クラッセ等の場所でも販売できないか検討してほしい。他自治体においてはスマホを活用する仕組みもあるようだ。

委員/デマンドタクシーの利用について、車両を汚してしまった場合など損害賠償を請求する旨チラシに掲載できないか。一般乗用旅客自動車運送事業標準運送約款第10条が根拠となる。

5 閉 会 企画情報課長

(11:41)